



平成28年1月4日

各 位

会 社 名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小 林 武 司
(コード：2538 東証第二部)
問合せ先 執行役員 財務計画部長 柚 義 継
(電話番号 06-6444-5293)

(訂正)「平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年11月6日付適時開示「平成27年9月期決算短信の開示時期の遅延並びにこれに係る経緯として当社代表取締役会長への便宜供与に係る疑義に対する独立調査委員会の調査及び当該調査の結果を踏まえたガバナンス体制の検討等に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成25年8月9日付「平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了いたしましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には____を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 上場取引所 東
コード番号 2538 URL <http://www.j-fla.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 武司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務計画部長 (氏名) 柚 義継 (TEL) 06-6444-5293
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績 (平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	19,465	△3.1	265	△39.8	△191	—	△415	—
24年9月期第3四半期	20,096	△7.8	441	△39.9	166	△54.3	△83	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 △380百万円(—%) 24年9月期第3四半期 △44百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	<u>△6.41</u>	—
24年9月期第3四半期	<u>△1.29</u>	—

(注) 当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、平成24年9月期については当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	<u>28,851</u>	<u>7,308</u>	<u>25.3</u>
24年9月期	<u>29,063</u>	<u>7,689</u>	<u>26.5</u>

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 7,308百万円 24年9月期 7,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	—	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期の期末配当予想額については、未定であります。

3. 平成25年9月期の連結業績予想 (平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△1.2	500	△14.0	△170	—	△360	—	△5.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の対前期増減率を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 2社(社名) JFLA販売株式会社、マルキン忠勇株式会社

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期3Q	68,004,520株	24年9月期	68,004,520株
25年9月期3Q	3,245,826株	24年9月期	3,244,659株
25年9月期3Q	64,759,189株	24年9月期3Q	64,760,254株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・配当については、業績に応じた適正な利益還元を行うことを基本方針とし、企業体質の一層の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定しております。現時点においては事業環境に不透明な要因が多いことから配当予想額を未定としておりますが、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月に発足した新政権による経済対策への期待から円安と株価の回復基調が見られるものの、世界に目を向けると欧州債務問題や中国をはじめとする新興国の経済成長の減速等もあり、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客の深耕、新規顧客・チャネルの開拓、積極的な新商品の導入等を図り、収益力の向上に努めました。この取り組みにより、輸入食品類・酒類販売事業は順調に売上を伸ばしましたが、食品類・酒類事業は厳しい市場環境により苦戦を強いられ、また、原材料価格及び輸入品仕入価格の高騰の影響を受けました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,465百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は265百万円(前年同期比39.8%減)、貸倒引当金繰入額を計上したこと等により経常損失は191百万円(前年同期は166百万円の経常利益)、四半期純損失は415百万円(前年同期は83百万円の四半期純損失)となりました。

また、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」に記載のとおり、従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費の一部について、第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。なお、当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同期増減率については遡及適用後の数値にて記載しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(食品類・酒類事業)

醤油につきましては、家庭用は主要ルートでの販路拡大を積極的に進めました。新商品で「マルキン天然醸造木桶仕込み初しぼり生200ml/700ml」や「マルキン超特選減塩しょうゆ500ml/1L」等を発売しましたが、主力商品が苦戦したこと等により売上が減少しました。業務用は外食市場の低迷や大手取引先の内製化への移行等の影響により売上が減少しました。

つゆ・たれ類につきましては、家庭用商品の「マルキン極淡白だし1L」「マルキンかき醤油1L」「盛田米沢櫻ステーキソース和風220g」「イチミツボン味付けぼん酢すだち風味360ml」「イチミツボシごまドレッシングゆず果汁入り500ml」等の売上が増加し、また昨年11月発売の「マルキン旨味つゆ1L」も好調に推移しました。業務用は外食市場の低迷等の影響により売上が減少しました。

その他調味料につきましては、有機関連の差別化商品である「盛田有機みりんタイプ500ml」が堅調に推移したものの、主力商品の「盛田料理酒1L」「盛田醸造みりんタイプ1L」が苦戦したこと等により売上が減少しました。

漬物につきましては、市場の縮小及び低価格化の影響等により全体としては売上が減少したものの、病院給食用のペースト状商品については、重点的に力を入れた結果、新規開拓により引き続き売上を伸ばしました。

飲料につきましては、昨秋に新商品で「ハイピースアップルシナモンティー350ml」「ハイピースあずき茶ココナツ350ml」、今春にリニューアル商品で「ハイピース越前の自然水330ml」「ハイピースおいしい田舎の越前茶330ml/500ml」等を発売しましたが、既存商品が競合他社との価格競争で苦戦したことに加え、PB商品の落ち込み等により売上が減少しました。

酒類につきましては、清酒は、新商品「尾張男山大吟醸300ml/1.8L」の拡売に注力し、中国向け輸出に関しては今期で増加傾向に転じたものの、主力商品の「尾張常滑郷の鬼ころし2L」「尾張男山2L」等の経済酒において、販売価格条件の見直し(抑制)をしたこと等により売上が減少しました。清酒以外では、「盛田蔵出し本みりん1.8L」が新規顧客開拓等により売上が大きく伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は10,994百万円(前年同期比6.1%減)、セグメント損失(営業損失)は45百万円(前年同期は120百万円の営業利益)となりました。

(輸入食品類・酒類販売事業)

業務用食材につきましては、米国産キャビアや冷凍フォアグラの販売増加、問屋取引の強化及び婚礼場の開拓等により売上が大きく増加しました。また、前期から導入しましたスペイン産高級ハム、仔豚及び冷凍水産品の売上也着実に成長しております。

製菓用食材につきましては、主力商品の「Kiriクリームチーズ」が大手コンビニエンスでの使用量の減少により苦戦したものの、販売先重点をコンビニエンスベンダーから洋菓子専門メーカーへの移行や「Kiriクリームチーズ1kgブロック」の販売キャンペーン等により売上増加を目指しております。

小売用商品につきましては、4月に主力商品の「ボンヌマンジャム225g」(9種類)の希望小売価格を統一し積極的な営業を展開しました。また、百貨店等ではフォアグラ試食販売や、フランス産角砂糖「ラ・ペルーシュ」の100gパッケージ及びお徳用750gの販促を継続して行い売上が増加しました。

ワイン類につきましては、主力商品の「ボランジェ」「シャンソン」「アヤラ」が販路拡大により好調に推移しました。中低価格帯商品は、イタリア、スペイン及びチリワインが安定的に市場に受け入れられ売上が増加しました。

この結果、当事業の売上高は7,940百万円(前年同期比6.8%増)、セグメント利益(営業利益)は225百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

なお、平成25年4月1日の連結子会社間の合併に伴い、報告セグメントの見直しを行った結果、(株)ブルーゲイツの保有株式の全部を売却したこと等によって、「水産加工販売事業」は重要性が低くなり報告セグメントに含まれない「その他」に含めたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、受取手形及び売掛金が380百万円減少、商品及び製品が41百万円、仕掛品が72百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ262百万円減少し13,189百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が217百万円増加、無形固定資産が8百万円、投資その他の資産が179百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し15,629百万円となりました。その結果、総資産は前連結会計年度末に比べ211百万円減少し28,851百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、支払手形及び買掛金が343百万円増加、1年内償還予定の社債が1,000百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ836百万円減少し17,609百万円となりました。固定負債は、社債が1,077百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,005百万円増加し3,933百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失415百万円により利益剰余金が減少、繰延ヘッジ損益が36百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ380百万円減少し7,308百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような事業環境の中、既存の食品事業領域における着実な成長と、経営の効率化により財務体質の健全化を図ってまいります。

なお、平成25年5月10日付「平成25年9月期第2四半期決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年4月1日付で、当社の連結子会社である盛田(株)を存続会社とし、当社の特定子会社であるJFLA販売(株)及びマルキン忠勇(株)を消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、当該特定子会社が消滅いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費の一部について、第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。

当該会計処理の変更は、会計制度委員会研究報告第13号「我が国の収益認識に関する研究報告(中間報告)」の公表を契機として、リベートの性格などを再検討した結果、販売促進費の一部は販売価額の減額、売上代金の返金という性格を有すると考えられることから、経営成績をより適切に表示するために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費はそれぞれ1,767百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,995	1,973
受取手形及び売掛金	5,782	5,402
商品及び製品	2,802	2,844
仕掛品	1,746	1,818
原材料及び貯蔵品	649	643
その他	516	555
貸倒引当金	<u>△41</u>	<u>△48</u>
流動資産合計	<u>13,451</u>	<u>13,189</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,030	7,040
その他(純額)	3,526	3,734
有形固定資産合計	<u>10,557</u>	<u>10,775</u>
無形固定資産		
のれん	3,570	3,359
その他	359	561
無形固定資産合計	<u>3,930</u>	<u>3,921</u>
投資その他の資産		
その他	<u>1,556</u>	<u>1,608</u>
貸倒引当金	<u>△444</u>	<u>△675</u>
投資その他の資産合計	<u>1,112</u>	<u>932</u>
固定資産合計	<u>15,600</u>	<u>15,629</u>
繰延資産	10	32
資産合計	<u>29,063</u>	<u>28,851</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,429	2,772
短期借入金	12,426	12,062
1年内返済予定の長期借入金	489	513
1年内償還予定の社債	1,044	44
未払法人税等	110	25
賞与引当金	111	90
その他	1,833	2,098
流動負債合計	18,445	17,609
固定負債		
社債	142	1,220
長期借入金	1,833	1,643
退職給付引当金	317	230
その他	633	838
固定負債合計	2,928	3,933
負債合計	21,373	21,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,773	2,773
資本剰余金	7,719	7,719
利益剰余金	△2,409	△2,824
自己株式	△376	△376
株主資本合計	7,707	7,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	3
繰延ヘッジ損益	△23	13
為替換算調整勘定	10	0
その他の包括利益累計額合計	△17	17
純資産合計	7,689	7,308
負債純資産合計	29,063	28,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	20,096	19,465
売上原価	14,371	<u>14,040</u>
売上総利益	5,725	<u>5,425</u>
販売費及び一般管理費	5,283	5,159
営業利益	441	<u>265</u>
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	4	4
為替差益	41	44
持分法による投資利益	0	6
その他	35	<u>57</u>
営業外収益合計	93	<u>123</u>
営業外費用		
支払利息	312	309
貸倒引当金繰入額	0	<u>220</u>
その他	55	<u>51</u>
営業外費用合計	368	<u>581</u>
経常利益又は経常損失(△)	166	<u>△191</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	24	82
特別利益合計	24	82
特別損失		
減損損失	55	—
事業再編損	1	80
その他	10	10
特別損失合計	68	91
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	122	<u>△200</u>
法人税、住民税及び事業税	92	<u>45</u>
法人税等調整額	113	169
法人税等合計	205	<u>214</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	<u>△415</u>
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△83	<u>△415</u>

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	<u>△415</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	8
繰延ヘッジ損益	31	36
為替換算調整勘定	0	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	38	34
四半期包括利益	△44	<u>△380</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44	<u>△380</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 上場取引所 東
コード番号 2538 URL <http://www.j-fla.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 武司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務計画部長 (氏名) 柚 義継 (TEL) 06-6444-5293
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	19,465	△3.1	238	△46.1	△306	—	△526	—
24年9月期第3四半期	20,096	0.2	441	△39.9	166	△54.3	△83	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 △491百万円(—%) 24年9月期第3四半期 △44百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	<u>△8.13</u>	—
24年9月期第3四半期	<u>△1.29</u>	—

(注) 当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、平成24年9月期については当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	<u>28,941</u>	<u>7,388</u>	<u>25.5</u>
24年9月期	<u>29,239</u>	<u>7,879</u>	<u>26.9</u>

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 7,388百万円 24年9月期 7,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	—	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月期の期末配当予想額については、未定であります。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△1.2	500	△13.6	△170	—	△360	—	△5.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年9月期より会計方針の変更を行ったため、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の対前期増減率を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 2社(社名) JFLA販売株式会社、マルキン忠勇株式会社

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期3Q	68,004,520株	24年9月期	68,004,520株
25年9月期3Q	3,245,826株	24年9月期	3,244,659株
25年9月期3Q	64,759,189株	24年9月期3Q	64,760,254株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・配当については、業績に応じた適正な利益還元を行うことを基本方針とし、企業体質の一層の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定しております。現時点においては事業環境に不透明な要因が多いことから配当予想額を未定としておりますが、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月に発足した新政権による経済対策への期待から円安と株価の回復基調が見られるものの、世界に目を向けると欧州債務問題や中国をはじめとする新興国の経済成長の減速等もあり、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客の深耕、新規顧客・チャネルの開拓、積極的な新商品の導入等を図り、収益力の向上に努めました。この取り組みにより、輸入食品類・酒類販売事業は順調に売上を伸ばしましたが、食品類・酒類事業は厳しい市場環境により苦戦を強いられ、また、原材料価格及び輸入品仕入価格の高騰の影響を受けました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,465百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は238百万円(前年同期比46.1%減)、貸倒引当金繰入額を計上したこと等により経常損失は306百万円(前年同期は166百万円の経常利益)、四半期純損失は526百万円(前年同期は83百万円の四半期純損失)となりました。

また、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」に記載のとおり、従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費の一部について、第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。なお、当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同期増減率については遡及適用後の数値にて記載しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(食品類・酒類事業)

醤油につきましては、家庭用は主要ルートでの販路拡大を積極的に進めました。新商品で「マルキン天然醸造木桶仕込み初しぼり生200ml/700ml」や「マルキン超特選減塩しょうゆ500ml/1L」等を発売しましたが、主力商品が苦戦したこと等により売上が減少しました。業務用は外食市場の低迷や大手取引先の内製化への移行等の影響により売上が減少しました。

つゆ・たれ類につきましては、家庭用商品の「マルキン極淡白だし1L」「マルキンかき醤油1L」「盛田米沢櫻ステーキソース和風220g」「イチミツボン味付けぼん酢すだち風味360ml」「イチミツボシごまドレッシングゆず果汁入り500ml」等の売上が増加し、また昨年11月発売の「マルキン旨味つゆ1L」も好調に推移しました。業務用は外食市場の低迷等の影響により売上が減少しました。

その他調味料につきましては、有機関連の差別化商品である「盛田有機みりんタイプ500ml」が堅調に推移したものの、主力商品の「盛田料理酒1L」「盛田醸造みりんタイプ1L」が苦戦したこと等により売上が減少しました。

漬物につきましては、市場の縮小及び低価格化の影響等により全体としては売上が減少したものの、病院給食用のペースト状商品については、重点的に力を入れた結果、新規開拓により引き続き売上を伸ばしました。

飲料につきましては、昨秋に新商品で「ハイピースアップルシナモンティー350ml」「ハイピースあずき茶ココナツ350ml」、今春にリニューアル商品で「ハイピース越前の自然水330ml」「ハイピースおいしい田舎の越前茶330ml/500ml」等を発売しましたが、既存商品が競合他社との価格競争で苦戦したことに加え、PB商品の落ち込み等により売上が減少しました。

酒類につきましては、清酒は、新商品「尾張男山大吟醸300ml/1.8L」の拡売に注力し、中国向け輸出に関しては今期で増加傾向に転じたものの、主力商品の「尾張常滑郷の鬼ころし2L」「尾張男山2L」等の経済酒において、販売価格条件の見直し(抑制)をしたこと等により売上が減少しました。清酒以外では、「盛田蔵出し本みりん1.8L」が新規顧客開拓等により売上が大きく伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は10,994百万円(前年同期比6.1%減)、セグメント損失(営業損失)は46百万円(前年同期は120百万円の営業利益)となりました。

(輸入食品類・酒類販売事業)

業務用食材につきましては、米国産キャビアや冷凍フォアグラの販売増加、問屋取引の強化及び婚礼場の開拓等により売上が大きく増加しました。また、前期から導入しましたスペイン産高級ハム、仔豚及び冷凍水産品の売上也着実に成長しております。

製菓用食材につきましては、主力商品の「Kiriクリームチーズ」が大手コンビニエンスでの使用量の減少により苦戦したものの、販売先重点をコンビニエンスベンダーから洋菓子専門メーカーへの移行や「Kiriクリームチーズ1kgブロック」の販売キャンペーン等により売上増加を目指しております。

小売用商品につきましては、4月に主力商品の「ボンヌマンジャム225g」(9種類)の希望小売価格を統一し積極的な営業を展開しました。また、百貨店等ではフォアグラ試食販売や、フランス産角砂糖「ラ・ペルーシュ」の100gパッケージ及びお徳用750gの販促を継続して行い売上が増加しました。

ワイン類につきましては、主力商品の「ボランジェ」「シャンソン」「アヤラ」が販路拡大により好調に推移しました。中低価格帯商品は、イタリア、スペイン及びチリワインが安定的に市場に受け入れられ売上が増加しました。

この結果、当事業の売上高は7,940百万円(前年同期比6.8%増)、セグメント利益(営業利益)は197百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

なお、平成25年4月1日の連結子会社間の合併に伴い、報告セグメントの見直しを行った結果、(株)ブルーゲイツの保有株式の全部を売却したこと等によって、「水産加工販売事業」は重要性が低くなり報告セグメントに含まれない「その他」に含めたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、受取手形及び売掛金が373百万円減少、商品及び製品が41百万円、仕掛品が72百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ264百万円減少し13,210百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が217百万円増加、無形固定資産が8百万円、投資その他の資産が262百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ53百万円減少し15,699百万円となりました。その結果、総資産は前連結会計年度末に比べ297百万円減少し28,941百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、支払手形及び買掛金が371百万円増加、1年内償還予定の社債が1,000百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ810百万円減少し17,620百万円となりました。固定負債は、社債が1,077百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,005百万円増加し3,933百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失526百万円により利益剰余金が減少、繰延ヘッジ損益が36百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ491百万円減少し7,388百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような事業環境の中、既存の食品事業領域における着実な成長と、経営の効率化により財務体質の健全化を図ってまいります。

なお、平成25年5月10日付「平成25年9月期第2四半期決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年4月1日付で、当社の連結子会社である盛田(株)を存続会社とし、当社の特定子会社であるJFLA販売(株)及びマルキン忠勇(株)を消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、当該特定子会社が消滅いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売促進費の一部について、第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。

当該会計処理の変更は、会計制度委員会研究報告第13号「我が国の収益認識に関する研究報告(中間報告)」の公表を契機として、リベートの性格などを再検討した結果、販売促進費の一部は販売価額の減額、売上代金の返金という性格を有すると考えられることから、経営成績をより適切に表示するために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費はそれぞれ1,767百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,995	1,973
受取手形及び売掛金	5,786	5,412
商品及び製品	2,802	2,844
仕掛品	1,746	1,818
原材料及び貯蔵品	649	643
その他	516	555
貸倒引当金	<u>△22</u>	<u>△37</u>
流動資産合計	<u>13,474</u>	<u>13,210</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,030	7,040
その他(純額)	3,526	3,734
有形固定資産合計	<u>10,557</u>	<u>10,775</u>
無形固定資産		
のれん	3,570	3,359
その他	359	561
無形固定資産合計	<u>3,930</u>	<u>3,921</u>
投資その他の資産		
その他	<u>1,545</u>	<u>1,587</u>
貸倒引当金	<u>△279</u>	<u>△584</u>
投資その他の資産合計	<u>1,265</u>	<u>1,002</u>
固定資産合計	<u>15,753</u>	<u>15,699</u>
繰延資産	10	32
資産合計	<u>29,239</u>	<u>28,941</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,422	2,794
短期借入金	12,426	12,062
1年内返済予定の長期借入金	489	513
1年内償還予定の社債	1,044	44
未払法人税等	110	21
賞与引当金	111	90
その他	1,825	2,092
流動負債合計	18,431	17,620
固定負債		
社債	142	1,220
長期借入金	1,833	1,643
退職給付引当金	317	230
その他	633	838
固定負債合計	2,928	3,933
負債合計	21,359	21,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,773	2,773
資本剰余金	7,719	7,719
利益剰余金	△2,219	△2,745
自己株式	△376	△376
株主資本合計	7,897	7,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	3
繰延ヘッジ損益	△23	13
為替換算調整勘定	10	0
その他の包括利益累計額合計	△17	17
純資産合計	7,879	7,388
負債純資産合計	29,239	28,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	20,096	19,465
売上原価	14,371	<u>14,067</u>
売上総利益	5,725	<u>5,397</u>
販売費及び一般管理費	5,283	5,159
営業利益	441	<u>238</u>
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	4	4
為替差益	41	44
持分法による投資利益	0	6
その他	35	<u>56</u>
営業外収益合計	93	<u>122</u>
営業外費用		
支払利息	312	309
貸倒引当金繰入額	0	<u>302</u>
その他	55	<u>55</u>
営業外費用合計	368	<u>667</u>
経常利益又は経常損失(△)	166	<u>△306</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	24	82
特別利益合計	24	82
特別損失		
減損損失	55	—
事業再編損	1	80
その他	10	10
特別損失合計	68	91
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	122	<u>△315</u>
法人税、住民税及び事業税	92	<u>41</u>
法人税等調整額	113	169
法人税等合計	205	<u>210</u>
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	<u>△526</u>
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△83	<u>△526</u>

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△83	<u>△526</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	8
繰延ヘッジ損益	31	36
為替換算調整勘定	0	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	38	34
四半期包括利益	△44	<u>△491</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44	<u>△491</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。